

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時の利用者の避難体制について、運営推進会議等で地域の方と話し合いを持っているが、高齢化が進む地域住民の現状を考慮すると、発生した災害によっては、地域からの支援に頼れない状況の想定も必要となっている。	災害発生時に備えた、施設自立型の体制を確立し、地域に頼るのではなく、地域から頼られる施設作りに取り組む。	運営推進会議等で、地域から協力してもらえること、反対に施設が地域に協力できることを話し合い、災害発生時にお互いが助け合えるような関係を築く。職員研修にて火災・天災等の災害別の対応を想定し、定期的に模擬訓練を行う。	12ヶ月
2	33	昨年施設で2名の看取り介護を行った。重度化や終末期の対応に向け職員のスキルアップにさらに取り組み、本人・家族・医療機関と当事業所との連携や体制面を見直す。	重度化・終末期ケアに向け、職員のスキルアップを継続して行い、利用者・家族が安心して過ごせる施設を維持し、看取り介護に向けた体制を強化する。	支援体制の整備に努め、①本人・家族・医療機関・当事業所の連携環境を整える。②職員の研修、資格取得を支援し技術・知識の向上を目指す。③家族面談を通し適切なタイミングで看取りに向けたケアを提供する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。